

ミニコラム

デジタルサイネージ（電子看板）による行政書士記念日の PR

行政書士記念日を含む約1カ月間、日本行政書士会連合会の各地方協議会（北海道・東北・関東・中部・近畿・中国・四国・九州）において少なくとも1か所、主に JR 駅構内のデジタルサイネージ用モニターに「2月22日は行政書士記念日」との広告を放映しました。1つのモニターに数分に1度放映。三宮駅でも行政書士広告が流れました。

場所：JR三ノ宮駅中央口

期間：2月4日（月）～3月3日（日）

画面数：8 面

画面サイズ：65 インチ

1回の放映秒数：15 秒



JR三ノ宮駅中央口のデジタルサイネージ

会員の動向

平成24年			一島 匡（尼崎市）	転出	倉敷 昭久（東京会へ）
6 月	転入	松元 まり（神戸支部より）	10 月	新規入会	北谷 眞三（西宮市）
	退会	河塩 信一（宝塚市）		退会	奥長 尚之（尼崎市）
7 月	新規入会	東 和彦（伊丹市）			樋口 隆則（宝塚市）
		前測 敏治（伊丹市）	11 月	新規入会	秋山 雅一（宝塚市）
		森井 孝志（西宮市）			花田 宏造（芦屋市）
8 月	新規入会	古田 千晶（西宮市）			佐野 建太郎（西宮市）
		森本 由紀（川西市）		退会	荒木 利雄（尼崎市）
		高江 淳司（尼崎市）			松井 啓明（宝塚市）
	退会	法花 佳男（伊丹市）	12 月	新規入会	平山 隆史（西宮市）
9 月	新規入会	焼山 篤（宝塚市）			松宮 重雄（尼崎市）
		阪本 誠司（尼崎市）			森 努（尼崎市）
		福田 恵理（西宮市）			望月 賢治（尼崎市）
		千崎 唯史（川西市）		転出	矢嶋 在（西宮市）
	退会	菊池 功（尼崎市）	平成25年		
		高津 彰（川西市）	1 月	新規入会	芳山 博（尼崎市）
		向井 良和（猪名川町）		退会	望月 庸帆（伊丹市）

支部広報部と本会通信員との連携

現在、兵庫県行政書士会阪神支部広報部は、広報担当副支部長と広報担当理事2名で構成されています。この2年間は、支部広報強化を図るため、兵庫県行政書士会通信員（本会通信員）と連携して支部広報活動を致しました。おそらく他支部では、あまり例を見ないことだったと思います。支部広報部と本会通信員が連携をすることで、本会広報誌「行政ひょうご」と支部ニュース「きざはし」で記載内容や投稿者が重複することもなく、スムーズに編集を進めることができました。この2年間の支部ニュース「きざはし」も本会通信員の協力があったこそ、皆さまに楽しんでいただける紙面となっています。今後も、阪神支部は、本会通信員と連携した広報活動をしてゆきたいと思います。

投稿大歓迎！

相続や遺言にかかわる原稿を特にお待ちしております。

上記以外でも、業務資料や仕事ネタ、日々の雑感、詩・短歌などあなたの原稿大歓迎。事務局までご投稿ください。

編集後記

山笑い風光る季節、兵庫県行政書士会阪神支部ニュース「きざはし」第109号を発行するに至りました。編集段階で何度も事情が変わり、難産の末の発行です。そのたびに、記事や写真の差し替えが入りました。苦勞して生まれただけに、ことさら愛着を感じます。今号は、現メンバーでの最後の発行となりました。この2年間、支部ニュースの改革にまい進したメンバーにあたたかいご意見ご感想をお待ちしております。

広報部 田中 保子（広報担当 副支部長） 酒井 ひろみ（理事） 林 健仁（理事） 秋山 加代（本会通信員）

発行者



兵庫県行政書士会
阪神支部

〒661-0025 尼崎市立花町3丁目29-12-101
TEL: 06-6426-5123 FAX: 06-6426-5125
http://hanshin.hyogokai.or.jp

発行日 平成 25 年 3 月 31 日



兵庫県行政書士会 阪神支部 ニュース

Kizahashi - きざはし -

第109号
平成25年3月発行

対話・改善・発信



〔西宮市〕
甲子園浜と野鳥

阪神間に唯一残された砂浜、干潟、磯がある。干潮時には、約70年前に建てられた阪神パーク（遊園地、水族館等）の跡が見られる。このコンクリート片が野鳥たちの格好の羽休め場となり、昭和53年11月国設浜甲子園鳥獣保護区に指定されている。（写真提供：西宮観光協会）



〔芦屋市〕
芦屋川

芦屋市を代表する川。国道2号線の業平橋を境に、上流は桜並木、下流は松並木が美しい。実は、天井川で、川底が周辺の平地よりも高い。そのため、業平橋の北、大正橋あたりでは、JRの列車が芦屋川の下に造られたトンネルを通りぬけている。



〔尼崎市〕
しょうげがわ
庄下川のユリカモメ

尼崎市中央部を流れる一級河川。かつてはシジミも採れたが、汚染が進み、魚の住めない川となる。昭和63年、建設省（当時）から「ふるさとの川モデル河川」に指定され、水質浄化や護岸整備に取り組んだ結果、魚が泳ぐ川によみがえった。



〔宝塚市〕
武庫川
武田尾駅あたり

このあたりの武庫川は、溪谷の趣がある。武田尾駅近くの赤い吊り橋や水上勉の小説「櫻守」のモデルとなった笹部新太郎氏がサクラの研究に使用していた「桜の園（亦楽山荘）」など見どころも多い。西宮市境まで足を延ばせばJR福知山線の廃線跡があり、ハイキングコースにもなっている。

【 地域と行政書士と 】 西宮市長ロングインタビュー

西宮市長ロングインタビュー

～ 苦大楽大 ～



豊かな自然を残し、美しい都市景観を持ちながら発展を続ける西宮市。職員として仕事を始めてから、市政に携わり続けて49年になる河野昌弘西宮市長にお話を聞いた。

自分は、「○○真面目」

自分の性格は、「上に二字が付くほど真面目（几帳面）です」と笑う。高校卒業後に職員として勤務し始めるが、その後、夜間大学にも通い出す。「試験勉強のために職場を休むことはしませんでした」という。そのことで職場の同僚に仕事の上での迷惑をかけないようにしたのである。自分がなすべきことには誠実に取り組まれている。

今は、「朝起きると、直ぐに仕事のことに頭が行ってしまう」とのこと。PCを起動したら、メールを確認し、ニュースや時事にも目を通す。「頭にゆとりがないのでは」とにっこりと自身を振り返るが、市長としては必要な仕事だという。

余暇には本を読むのも好きである。最近是一人で出来るボウリングを市内でマイボールとシューズを用意し、

楽しんでいる。「月1回ぐらいしか行けませんが(笑)」

親から受けた思いを胸に

一般の会社員と違って、「公務員は市民の方が真面目に働いて納めていただいた税金がその給与の原資になっている。そのことを決して忘れることがないように」と、後日ご両親からやさしく教えられる。「その税金のおかげで、家族を養い生活ができています」と、公務員としてのあり方を心に刻む。それはこれからも決して忘れることはない。職員としては、「市民の皆さんに感謝の気持ちで、すべては仕事、公務優先で頑張ってきた」と自負される。市民に感謝する心は、市民を大切にする心になり、市政にも反映されていく。

好きな言葉は、「苦大楽大」（市長ご自身の創作による四字熟語）という。子供の頃、ご両親から「どんなに大きな苦労があったとしても、それを乗り越えるようにしていくしかない。そうすれば、また楽しみもより大きい」と教えられた。それを心の中にしっかりと留めて、公務に取り組まれている。今はこの言葉を「書」にしたため、机の上に置いている。そして、折りに触れて

【 地域と行政書士と 】 西宮市長ロングインタビュー

高校の式典などでは、未来の大人達にやさしく語りかけている。

目指してはいなかった政治家

「当初より政治家ではないし、目指していたわけでもない」という。職員としてスタートし、総務局担当理事、副市長（旧助役）を経て市長に就任する。その時どきのお立場で、また市長になられてから改めて驚かれたことや感じられたことを聞いた。

まずは市民に感謝の気持ちで、すべて仕事、公務優先で、市民を大切にしてきた。だが、「これは善良なる市民に対してであり、無茶苦茶な市民からの要望には毅然とした対応をするし、このことは職員にも常に話をしています」と言い切る。善良な市民を大切にすることが故に、そうではない市民の対応にも苦慮される、難しい市政の一端が垣間見える。

そして市長になってからは、「いっそう意識の切り替えが大切だ」という。それは、「市長の一言ひと言が、市民に対して大きな影響を及ぼす」こと。「最終の判断は誰にも相談できないこともあるし、議会での予算の議決が必要なものもある」こと。従って、「慎重さと決断が大変です」とも。「リーダーシップを発揮することが、如何に難しいかを痛切に感じております。また、都市経営は本当に難しい」と、常に市民のことを見据えるが故に市政の舵取りに気を引き締める。

震災の苦労と教訓

市長は、阪神淡路大震災では、避難者・避難所への食料の調達と配送の責任者であった。地下の駐車場でダンボールを布団代わりに、1週間は文字通り不眠不休で対応に追われる。

他市からの多くの食料や物品が大型車両やフェリーなどで届き、今でもその支援のありがたさに感謝されている。しかし、その反面、「支援物資が昼夜を問わず届き、これを受け入れることが大変。送る側の都合もあるが、物資が重なると受け入れ側も困りますよね」と。必要な物が必要な場所に必要なタイミングで届くこと・届けることに、行政の困難さ・大変さが表れている。

このため昨年の東北地方の震災には、河野市長自身が、いち早く現地の首長に電話で支援を申し入れる。



その後現地の首長と直接会って、支援物資として何を望まれているのかを伺う。正に震災時の身をもつての体験が、現場の判断に活かされている。

大きな自然災害被害に対する自治体間の支援のあり方は、支援の相手方を特定して行うことが有効であると言われている。そこで、西宮市は、震災発生後直ちに被災地に幹部職員を3次に亘り派遣し、被害状況の把握と支援先を決定する。西宮市は、宝塚市・川西市・猪名川町と共同して阪神支援チームを編成し、宮城県女川町と南三陸町を「カウンターパートナー方式」で支援する。短期派遣としては483名の職員で、のべ2,900日の職員を派遣し支援。これとは別に、現在、女川町・南三陸町に4名ずつ（計8名）の職員を長期派遣し支援している。震災を経験した西宮市ならではの思いやりと優しさがあふれている。

要となる西宮市

歴史的にも地理的にも兵庫県・阪神地域の要となる西宮市の役割を聞いた。「西宮市は、神戸・大阪の中間にあり、阪神間の都市にあっても交通の要所にあること、人口も48万4千人を超え、文字通り中核都市であると自負しており、責任も感じております」という。阪神間には空港もある、宝塚歌劇、伊丹市昆虫館、宝塚市立手塚治虫記念館、兵庫県立芸術文化センター、南には自然海浜と新西宮ヨットハーバーなど魅力的な観光資源が存在している。そこで、「阪神間都市が、それぞれの魅力ある施設をネットワークで結び、全体として情報を発信し、集客を図ることが必要ではな

【 地域と行政書士と 】 西宮市長ロングインタビュー



いか」とビジョンを持たれる。西宮市に夢の広がるような思いに駆られるのは、記者の私だけであろうか。

個性のある商業・観光施設と豊かな自然環境

平成 23 年を「観光元年」と位置づけスタートした西宮市、その具体的な取り組みを聞いた。「西宮市は観光入込客数が、年間 1,200 万人で、県下第 2 位である（1 位：神戸市、3 位：姫路市）が、甲子園球場と西宮神社が圧倒的に多く、他の観光地・施設を巡っていないところがあり誘客が課題です」という。そこで、西宮市内を一つのパビリオンに見立てた「西宮まちたび博覧会」を開催した。「食べてよし、見てよし、体験してよし」のコースを 90 以上も用意して、グループや家族でゆっくりと楽しんでもらう内容である。また、市内在住の女優「西田ひかる」さんに観光大使になっていただき、西宮の観光情報を発信している。イラストレーター「高井よしかず」さんに観光キャラクター「みやたん」を制作していただき、西宮市の人気上昇に力を入れている。

いずれにしても河野市長から頻繁に出てくる言葉は、「市民の皆さんに喜んでいただく」「家族でゆっくりと楽しんでいただく」など、市民はもちろんのこと参加者全員に喜んでもらうという思いにあふれたものが多い。

文教住宅都市

「西宮市は 10 の大学・短期大学があります」とのこと、少し驚きである。① 関西学院大学 アメリカンフットボール部 平成 23 年 全日本大学アメリカンフットボール選手権決勝戦パナソニック杯第 66 回毎日甲子園ボ

ウル優勝、② 大手前大学 ゴルフ部女子 平成 24 年全国女子大学ゴルフ対抗戦 優勝 ③ 武庫川女子大学 タッチフットボール部 平成 24 年 さくらボウル優勝など、全国的な活躍が目覚しい。そこで文教住宅都市としての将来像を聞いた。「都市経営については、地方分権の時代。隣接の他都市と連携し、兵庫県や国に対しても言うべきことはしっかりと。その上で、成熟した文教住宅都市としてさらに発展させたい」と。また西宮市においては、「西宮市大学交流協議会を組織して、学業・スポーツも連携の上に発展できるよう力を入れたい」という。

最後に、行政書士に期待することを伺う。「日頃から市民に代わって書類を作成し、お届けをいただいております。皆様のご指導ご支援で事務もスムーズに進行でき、心から感謝申し上げます」「何かお気づきの点があれば、遠慮なくお話いただきたく存じます」と。

インタビュー内容に常に笑顔で丁寧に応じてくださった河野市長。将来人口の減少が見込まれる中、人口減少を最小に止め、住んで良かったと言ってもらえるようにするには、「ハード整備も大切ですが、心温かい行政（福祉、教育、温かい地域コミュニティ、安全で安心してらせる町であること）が大切です」と言い切る。「きれいな美しい街並みだけでは都市としては取り残されてしまう」「西宮は住みやすく、やはり一味違うと言われる街創りを進めたい」とも。

市長は、一貫して市民への感謝の思いを胸に、市民の喜びを求める姿勢（市政）にあふれていた。



取材後の記念撮影

（左より）秋山加代 本会通信員、林健仁 理事、田中保子 副支部長、河野昌弘 西宮市長、大口晋 支部長、酒井ひろみ 理事

活動報告

兵庫県行政書士会 阪神支部 主催
行政書士記念日 市民講座
「エンディングノート」

平成 25 年 2 月 22 日（金） 尼崎市女性センター・トレピエの「トレピエホール」にて、兵庫県行政書士会 阪神支部主催で、「行政書士記念日 市民講座」を開催しました。今回のテーマは、「エンディングノート」。定員を超える 148 名の方に参加いただき、たいへん盛況な講座となりました。ご参加・ご協力ありがとうございました。

講座では、2011 年に公開され大きな話題となった、砂田麻美監督によるドキュメンタリー映画「エンディングノート」（10 ページで詳しく紹介）を上映。続いて、相続・遺言・エンディングノートのスペシャリストである 清水友子会員による講演を行いました。また、一般社団法人「コスモス成年後見サポートセンター」の成年後見制度についても、ご紹介させていただきました。

閉会後は懇親会が催され、美味しい食事とお酒に舌鼓を打ちながら、新入会員の紹介、会員及びご来賓の方々との温かい交流の輪が広がり、より一層の親睦が深められる一日となりました。

さて、以前にもご紹介しておりますが、堺市南区役所地域福祉課で配布している、エンディングノートをご紹介します。

下記よりダウンロードして利用いただけます。

堺市南区役所地域福祉課 エンディングノート

<http://www.city.sakai.lg.jp/minami/kurashi/sogocenter/korei/haifu.html>



市民講座案内チラシ



映画「エンディングノート」より



公演風景

清水友子会員の講演

コスモス成年後見サポートセンターのご紹介

活動
報告

新入会員研修会を終えて

うて 伸八 (宝塚市)

平成24年8月22日、西宮大学交流センターにて新入会員研修会が開催されました。過去一年内に阪神支部に入会した会員が対象で、支部長はじめ、7名の役員と新入会員10名が参加しました。

阪神支部の役員、新入会員が一堂に会するのは今回が初めてで、研修会後の懇親会も含め、大変有意義な時間を過ごすことができました。

研修会では、支部長の挨拶の後、役員と新入会員の自己紹介があり、その後、支部細則及び業務処理基準の説明、続いて、平成23年度事業実施報告書と平成24年度事業計画をもとに、阪神支部の組織・活動・実績・取り組み等の説明を受けました。行政書士が普段活動している背景には、広報活動を初めとする支部の様々な活動による支援があることがわかり、このことは中に入らないと見えない部分でもあり、興味深く聞くことができました。

最後に、先輩会員から業務のアドバイスや経験談を聞くことができました。その中で、他の行政書士との繋がりを大切に、今回の様な会合には積極的に参加していくことが大事であるという話があったのですが、行政書士

は取り扱える業務範囲が広く、業務が違う会員と会合の中で親睦を深めていくことが新たな仕事にも繋がることになると聞き、特に印象に残りました。

研修会も閉会に近づき、新入会員の表情も硬いままであまり会話をすることがなく、懇親会でも、このままあまり交流することなく終わってしまうのではないかと心配していましたが、いざ、懇親会が始まりお酒が進むと、新入会員の表情も緩み、研修会とは違う雰囲気になりました。また、先輩会員から名刺交換を積極的にしてもらい、親睦を深める空気を作ってもらったこともあり、同期の同じ悩みを持った会員、他の業務をされている会員との意見交換もできました。

充実した研修会を終え、今後は、先輩会員のアドバイスにあった「他の行政書士との繋がり」を実践し、様々な「繋がり」を意識しながら行政書士として社会に貢献できるよう日々精進していきたいと思います。

最後に、貴重なお時間を割いていただいた役員・先輩会員方に、この場をお借りしてお礼を申し上げます。有難うございました。

活動
報告「平成24年度行政書士制度広報月間説明会」
及び「相談員能力基盤担保研修会」

黒田 信夫 (西宮市)

平成 24 年 8 月 31 日 (金) 14:00 ～ 17:00、尼崎市立小田公民館にて「平成 24 年度 行政書士制度広報月間説明会」及び「相談員能力担保研修会」が開催されました。

日本行政書士連合会及び都道府県行政書士会は、10月1日から31日までの1カ月間を「行政書士制度広報月間」と定め、行政書士法が適正に運用され、かつ、行政書士制度に関して広く国民の理解と協力が得られるよう活動しています。

兵庫県行政書士会阪神支部においても「行政書士制度広報月間」について、①「対話力の強化」②「改善力の強化」③「発信力の強化」という3つの柱を運営方針として、様々な取り組みがなされており、これらの

取り組みについて、支部長より説明がありました。

具体的な活動としては、「行政書士制度広報月間説明会の実施」「行政機関等への訪問」「法の日の無料相談会の実施」「支部事務所における無料相談の受付の実施」等がなされています。

この中でも「法の日の無料相談会」は最重要事業と位置づけられ、様々な形で阪神支部の全会員が参画できるよう取り組みがなされております。



講師 堀口会員

そして、同日、「行政書士制度広報月間説明会」に続き、相続・権利義務専門部会・委員長の堀口健会員を講師に迎え、テーマを「相続・権利義務関係の書類作成相談に関する諸問題」と題し、「相談員能力基盤担保研修会」が開催されました。

無料相談会を実施するにあたり、相談を受ける行政書士の資質により、万が一にも相談者の方に何か不利益を与えてしまうようなことは、法律家として避けなければなりません。そこで、各会員行政書士の相談員としての資質の向上を目指して行われたのが本研修です。その内容は、相談業務についてのコンプライアンスから、契約書の作成の実務、委任契約とトラブル、内容証明作成時の問題

点、遺産分割協議書や遺言の作成についてまでと幅広い分野にわたりました。まさに、本研修の目的を達成するに相応しい講義でありました。

活動
報告

「法の日」無料相談会(芦屋)に出席して

安藤 都昭 (芦屋市)

台風 18 号が通過した前日とはうって変わって爽やかな晴天に恵まれた 10 月 1 日、JR 芦屋駅前のラポルテホールにて開催された「法の日」無料相談会に相談員の一人として参加しました。行政書士として開業してから 3 回目となる「法の日」ですが、無料相談会に参加するのは今回が初めてです。

当日は月曜日ということもあって少し遅い出足でした。午前中は 2 名ほどの方が相談に来られ、他の相談員が対応しました。午後からは相談に来られる方のペースも上がり、私も相談員として 2 件ほど対応しました。2 件とも相続に関する内容です。他の相談員と 2 名 1 組で相談者の話に耳を傾け、専門家としての期待に応えられる回答をするよう心がけました。

相談者の質問に単に返答するだけではなく、会話を通じて相談者の真のニーズを探り出し、伝える。最終的な解決策が、相談者の最初の質問とは全く違うところから生じることもあります。専門家としての知識だけではなく、正にプロフェッショナルなコミュニケーション能力が求められます。特に、相続に関する相談は、相談者の人生を反

映して、それぞれが千差万別なドラマのようです。我々相談員が拠りどころとする法律や制度は画一的なものかもしれませんが、相談者それぞれの多様な人生に合わせた対応が必要です。そして、相談を終えて帰る相談者の表情を伺えば、我々の対応が相談者にとって意味のあるものであったかどうか分かります。「身寄りがないので・・・」と当日相談に来られたご年配の婦人が帰る時の笑顔は私は一生忘れることができないでしょう。

行政書士倫理綱領には『国民と行政とのきずなとして、国民の生活向上と社会の繁栄進歩に貢献することが行政書士の使命であると述べられています。「法の日」が国民の皆様の生活にとって「豊の日」となるよう、行政書士としての資質・能力の向上に一層努めようと感じた一日でした。



【平成24年度「法の日」の行政書士 無料相談会】

芦屋会場

日時：平成 24 年 10 月 1 日 (月) 10:00 ～ 16:00
場所：芦屋ラポルテ ラポルテホール

活動
報告

「法の日」無料相談会(宝塚)実施報告

小川 浩樹 (宝塚市)

9月30日(日) 午前10時より宝塚市逆瀬川の「アピア1」2階ふれあい広場にて、兵庫県行政書士会阪神支部主催による「法の日」無料相談会が開催され、各会員の協力により無事に相談会を終えることができました。

当日、台風17号の影響でどれ位の人出があるのか不安なスタートでしたが、いざ始まってみると、多数の方が立ち寄られ、ご相談を頂きました。

ご相談内容としては、やはり市民の皆様がいずれは直面する問題として、遺言・相続に関することが大部分でしたが、その他にも「近隣との問題」、「固定資産のご相談」、「借地借家関係」、「生命保険に関する問題」、「涉外戸籍」、「開業に関すること」など、行政書士の守備範囲の広さを反映し、実に多岐にわたるものがありました。相談員がそれぞれ、ひとつひとつのご相談に熱心に耳を傾け、相談者が何を悩んでいて、その悩みを解決するにはどういった方法があるか、専門知識を駆使して考え、丁寧にわかりやすく伝えている姿が印象的でした。

私が直接ご相談をお受けした方に、「本当にこの問題がずっと心に引っかかっていて、夜も寝られない、死んで

も死にきれないという思いをしていたけれど、今日相談にきたことで解決の糸口が見えてよかったです」と言っていたことが、とても強く心に残りました。悩みを抱えていた人の表情がホッと安心した表情になり帰路に就く・・・行政書士冥利に尽きる瞬間です。

建物がしっかりしていたため、暴風雨にもびくともしませんでした。会場近くに設置されたテレビには、多数の公共交通機関が運休になっているという情報が映し出されていました。時間を追って強くなっていく台風の影響を考慮し、予定よりやや早めの15時過ぎに会場撤収となりました。そのため、ご相談件数は17件でトータルとしてはやや少なめでしたが、相談員の懇切丁寧な対応に、相談者それぞれ満足してお帰り頂いたようでした。

多様なご相談内容に、行政書士の専門分野の多様性、幅の広い研鑽が必要であること、また、行政書士に対する市民の期待の大きさといったことを実感できた、非常に有意義な一日となりました。

末筆となりますが、当日参加された会員の皆様、長時間のご対応本当にお疲れ様でした。

【 平成 24 年度「法の日」の行政書士 無料相談会 】

宝塚会場

日時：平成 24 年 9 月 30 日(日) 10:00～15:30

場所：アピアさかせがわ アピア1 2F ふれあい広場



活動
報告

納涼!! ビアパーティー

黒田 信夫 (西宮市)

平成24年8月31日にホテル『ホップイン』アミング2F オークルームイーストにて、兵庫県行政書士会阪神支部主催の『納涼!!ビアパーティー』が盛大に開催されました。

この日のビアパーティーには、宝塚商工会議所会頭の宮本博司様、西宮商工会議所 経営革新チームリーダーの福島茂利様、兵庫県行政書士会の田中浩二会長を始めとする、兵庫県行政書士会の各委員・各支部の支部長など13名の方を来賓に迎え、90名ほどの会員が参加しました。

大口支部長の開催挨拶のあと、乾杯の音頭があり、ビアパーティーは始まりました。田中会長より祝辞を賜った後、来賓の方々のご紹介、ご挨拶、そして、新入会員の紹介、挨拶とパーティーは進行していきました。

このビアパーティーは阪神支部を代表する、毎年、好評のイベントであると聞いております。そのためか、出席した会員の顔ぶれも、新入会員から中堅会員、ベテラン会員まで、とても幅広いものでありました。

ビアパーティーの会場のある場面では、会員同士が再会の喜びを互いに確認しあい、また、別の場面では、新

入会員が先輩会員から様々な教えを受けておりました。そして、多くの会員が情報を交換しあい、互いに励ましあっていました。行政書士は個人経営の事務所が多いため、個々の会員同士の交流、情報交換などは、なかなか難しいものがあるのではないかと思います。このような現状を踏まえてみると、このビアパーティーは多くの会員が一堂に会して、互いに交流、情報交換をするための貴重な機会であると思われます。そのように考えると、このビアパーティーが毎年好評だというのも、とても納得のいくものであります。実際に、ビアパーティーの会場はとても活気のある場となりました。来賓の方々にも楽しんでいただけたのではないのでしょうか。また、新入会員にとっては、先輩会員との貴重な出会いの場となったのではないのでしょうか。各会員にとって、今回のビアパーティーはとても有意義なものであったと思われます。今後とも、このような貴重な機会が永続的に続くことにより、各会員が奮起し、地域の皆様のお役に立てる「街の法律家」として活躍することを願ってやみません。

【 納涼!! ビアパーティー 】

日時：平成 24 年 8 月 31 日(金) 17:30～19:30

場所：ホテル「ホップイン」アミング 2F オークルームイースト



映画と行政書士と

ペンネーム ^{ぎょうせい} 暁星 ^{しよし} 処士 (西宮市)

「エンディングノート」 (2011 年日本映画 90 分)

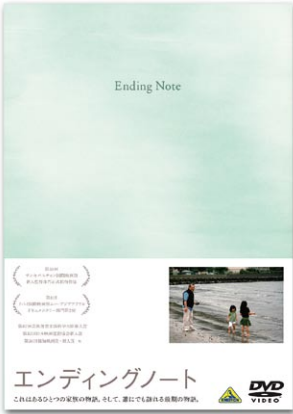
営業畑一筋で働きつづけた父親の癌告知から葬儀までの半年間を娘・砂田麻美が家族の絆のドキュメンタリーとして撮影、それまでの撮り貯めていた映像と合わせて編集した初監督作品。サンセバスチャン国際映画祭新人監督部門やシカゴ国際映画祭ドキュメンタリー部門に出品され、多くの新人賞や特別賞を受賞しました。

プライベートビデオでもあり、主人公の父親と母親、長男夫婦、長女夫婦、次女（砂田監督）と孫達、そして担当医師と神父が主な出演者で全て一般の人々ですが、緊張し過ぎることもなく、ごく自然に映し出されています。高度経済成長の時代の 8 ミリ映像も織り交ぜてあり、父親の働き続けた日本を垣間見ることが出来ます。ナレーションも砂田監督が語りかけるように入り、ユーモアも交えながら家族と悲しみを受け入れていく言葉や、終わりに流れる主題歌ハナレグミの「天国さん」も印象深いものです。

あまりにも進行の早い病のため限られた時間の中でみんなが力を合わせてその日を迎えます。ただ悲しいだけの映画ではありません。いろいろな迎え方があるでしょうが、大きな励みになるような温もりのある映像です。

「サン・ジャックへの道」 (2005 年仏映画 112 分)

亡き母の遺産（現金 100 万ユーロと 70 万ユーロ相当の別荘!）を相続するために、極端に仲の悪い 3 人の兄弟が、9 人グループでフランスのル・ピュイ（リヨン南西約 100km）からスペインの西の果て聖地サンティアゴ・デ・コンポステーラ（＝サン・ジャック）までの 1500km を昔ながらの徒歩での巡礼の旅に出るという、コメディタッチのロードムービー。長男ピエールは大会社の社長で多病のため薬を離せない神経質な体質、アルコール依存症で自殺願望の妻がいる。長女クララは反権力志向の高校教師で失業中の夫と 2 人の子供を養っており、次男クロードはアル中で長期失業中。問題の遺産は生前に慈善団体に寄付されているが、この



「エンディングノート」DVD ¥3,990
発売元：バンダイビジュアル

巡礼が停止条件となっている。

この巡礼路は、1000 年以上の歴史をもち世界遺産に登録されており、同じく世界遺産に登録されている紀伊山地の霊場と参詣道と姉妹道提携が締結されています。現在も年間 10 万人程がフランスからピレネー山脈を越えて巡礼しているそうです。

兄弟を含め皆それぞれ深い悩みがあり疲れはて眠っている時にシュールレアリスムな夢で表現されています。巡礼中も携帯電話を離すことができなかったり、宿泊所は値段は安いが牧場の中であったり、場所がなく学校の教室を借りたり、大いびきの他の旅行者と重なったり、ある神父の宗教的な差別もあったりと、ハプニングが続きます。人間関係は複雑ですが、対照的に風景はどこまでも美しく心が洗われます。

途中、本当の遺言の条件はサン・ジャックまでではなくフランス国境までと案内人ギイが伝えますが、最初一番巡礼に反対していたピエールが最後まで続けると言い出し、結局クララとクロードも巡礼を続けます。

遺言手続を完了するために兄弟の生まれ育った邸宅に向かうシーンで、2 階の窓から優しいまなざしの亡母を偲べる影が見えます。遺言の本当の目的は、兄弟の仲が昔のように戻ることだったのかもしれませんが。

エンディングノートは、遺言とは異なり法的効力を求めることが目的ではなく、本人の生存中や亡くなった後に家族の負担を軽減するための覚書のようなものです。しかし様式が整った遺言も遺族の不満が爆発すると「犬神家の一族」のような殺人事件に発展したりします。

最期の日を迎える家族達の準備を中心に撮り続けた「エンディングノート」と突然の母親の死を郵便物で知らされその後の兄弟を含めた人間関係を描いた「サン・ジャックへの道」と扱っている時間帯も人物描写の範囲も異なりますが、合わせてご覧になることをお勧めします。



「サン・ジャックへの道」DVD ¥13,980
発売元：ハビネット

① 無料相談会

1. 川西市 (川西市役所)

年月日	相談員
平成 24 年 7 月 10 日	恵須川理事
平成 24 年 8 月 14 日	恵須川理事
平成 24 年 9 月 11 日	恵須川理事・岩井会計理事
平成 24 年 10 月 9 日	恵須川理事・柏崎理事
平成 24 年 11 月 13 日	岩井会計理事・大西会員
平成 24 年 12 月 11 日	恵須川理事
平成 25 年 1 月 8 日	恵須川理事
平成 25 年 2 月 12 日	岩井会計理事・大西会員
平成 25 年 3 月 12 日	恵須川理事

2. 宝塚市 (市立勤労市民センター)

年月日	相談員
平成 24 年 7 月 16 日	石川理事・飯野会員・北上会員・杉本会員
平成 24 年 8 月 22 日	石川理事・宮越会員・高崎会員
平成 24 年 9 月 17 日	石川理事・飯野会員・山口忠士会員
平成 24 年 10 月 15 日	石川理事・飯野会員・高崎会員・門田会員
平成 24 年 11 月 19 日	石川理事・高崎会員・今里会員・山本秋雄会員
平成 24 年 12 月 17 日	石川理事・飯野会員・北上会員・永井会員
平成 25 年 1 月 21 日	飯野会員・高崎会員・宮越会員
平成 25 年 2 月 18 日	田中副支部長・石川理事・飯野会員・山口忠士会員
平成 25 年 3 月 18 日	石川理事・今里会員・門田会員

3. 伊丹市 (伊丹商工プラザ)

年月日	相談員
平成 24 年 7 月 17 日	小笹理事・角田会員・酒井亜矢子会員・中西良博会員
平成 24 年 8 月 21 日	小笹理事・角田会員
平成 24 年 9 月 18 日	角田会員・中西良博会員・酒井亜矢子会員・石河会員
平成 24 年 10 月 16 日	小笹理事・池信会員・北原会員・清水友子会員・石河会員
平成 24 年 11 月 20 日	角田会員・中西良博会員・酒井亜矢子会員・高橋伸朗会員
平成 24 年 12 月 18 日	小笹理事・池信会員・北原会員・石河会員
平成 25 年 1 月 15 日	角田会員・中西良博会員・酒井亜矢子会員
平成 25 年 2 月 19 日	小笹理事・北原会員
平成 25 年 3 月 19 日	角田会員・中西良博会員・酒井亜矢子会員

4. 法の日無料相談会

年月日	会場	相談員数
平成 24 年 9 月 30 日	アピアさかせがわ「ふれあい広場」	37 名
平成 24 年 10 月 1 日	芦屋・ラポルテ「ラポルテホール」	32 名

② 研修会、レクリエーション等

年月日	内 容	場 所	出席者
平成 24 年 8 月 22 日	新入会員研修会	西宮市大学交流センター	支部理事・新入会員 計 17 名
平成 24 年 8 月 31 日	相談員基礎能力担保研修会 広報月間説明会	尼崎市立小田公民館	参加 60 名
平成 24 年 8 月 31 日	ビアパーティー	ホテル「ホッピン」アミング	参加 86 名
平成 24 年 11 月 18 日	文化祭「料理教室」	尼崎市女性センター テレビエ	参加 9 名 講師 1 名
平成 24 年 11 月 25 日	文化行事「落語会」	尼崎市女性センター テレビエ	参加 39 名 演者 4 名
平成 24 年 12 月 14 日	業務研修会	尼崎商工会議所	参加 29 名 講師 1 名
平成 24 年 12 月 14 日	忘年会	R-CAFÉ	参加 71 名
平成 25 年 2 月 14 日	新入会員研修会	西宮市大学交流センター	支部理事・新入会員 計 16 名
平成 25 年 2 月 22 日	行政書士記念日市民講座	尼崎市女性センター テレビエ	参加 148 名

③ 渉外、会議等

年月日	内 容	場 所	出席者
平成 24 年 7 月 24 日	正副支部長会	支部事務所	支部長・堀川副支部長・岩井会計理事
平成 24 年 8 月 3 日	第 2 回理事会	西宮市大学交流センター	正副支部長・会計理事・理事 計 12 名
平成 24 年 8 月 4 日	西宮商工会議所創立 70 周年記念講演会・式典	兵庫県立芸術文化センター	支部長・梶原理事
平成 24 年 9 月 5 日	広報月間打合せ会議	西宮市大学交流センター	正副支部長・会計理事・理事 計 13 名
平成 24 年 9 月 10 日	阪神北県民局訪問	阪神北県民局	支部長・堀川副支部長・田中副支部長
平成 24 年 9 月 10 日	阪神南県民局訪問	阪神南県民局	支部長・田中副支部長
平成 24 年 9 月 19 日	西宮商工会議所打合せ	支部長事務所	支部長・梶原理事
平成 24 年 9 月 24 日	FM 宝塚 出演	FM 宝塚	支部長・田中副支部長
平成 24 年 9 月 26 日	西宮市長インタビュー	西宮市役所	支部長・田中副支部長・林理事・酒井理事・秋山本会通信員
平成 24 年 9 月 26 日	広報部会	西宮市立勤労会館	田中副支部長・林理事・酒井理事・秋山本会通信員
平成 24 年 10 月 10 日	正副支部長会	支部事務所	支部長・堀川副支部長・田中副支部長・岩井会計理事
平成 24 年 10 月 11 日	企画部・業務部合同部会	西宮市大学交流センター	支部長・小西理事・梶原理事・柏崎理事・東新理事
平成 24 年 10 月 17 日	重点業務取組み会議	西宮市大学交流センター	支部長・岩井会計理事・恵須川理事・梶原理事・北上会員・関会員・上辻会員・吉見会員
平成 24 年 10 月 19 日	建設業許可申請等（監察）	阪神北県民局	支部長・堀川副支部長・田中副支部長・岩井会計理事・恵須川理事
平成 24 年 10 月 29 日	尼崎商工会議所理財部会・情報産業部会合同視察見学会	造幣局 パナソニックミュージアム 松下幸之助歴史館	堀川副支部長
平成 24 年 11 月 2 日	第 3 回理事会	西宮市大学交流センター	正副支部長・会計理事・理事 計 14 名
平成 24 年 11 月 5 日	総務部会	尼崎市立小田公民館	堀川副支部長・西田理事・小笹理事・山本理事・石川理事
平成 24 年 11 月 15 日	ISO26000 導入検討特別委員会	西宮市大学交流センター	委員 12 名
平成 24 年 11 月 26 日	にしのみや産業フェア無料相談会	ノボテル甲子園	参加 11 名
平成 24 年 11 月 27 日	にしのみや産業フェア無料相談会	ノボテル甲子園	参加 12 名
平成 24 年 12 月 20 日	中間監査	支部事務所	支部長・堀川副支部長・岩井会計理事・梶崎監事・高見監事
平成 24 年 12 月 21 日	ISO26000 導入検討特別委員会	西宮市大学交流センター	委員 11 名
平成 25 年 1 月 4 日	宝塚商工会議所新年互礼会	宝塚ホテル	田中副支部長・石川理事
平成 25 年 1 月 5 日	川西市商工会新年互礼会	アステホール	支部長・恵須川理事
平成 25 年 1 月 6 日	猪名川町商工会新年互礼会	イナホール	支部長・鳥越連絡員
平成 25 年 1 月 7 日	西宮商工会議所賀詞交歓会	ノボテル甲子園	堀川副支部長・梶原理事
平成 25 年 1 月 7 日	伊丹商工会議所新年互礼会	伊丹シティホテル	支部長・小笹理事
平成 25 年 1 月 8 日	尼崎商工会議所新年合同祝賀会	都ホテル ニュアルカイク	支部長・堀川副支部長
平成 25 年 1 月 11 日	兵庫県宅地建物取引業協会新年名利交歓会	ノボテル甲子園	堀川副支部長
平成 25 年 1 月 16 日	芦屋市商工会 新年互礼会	ホテル竹園芦屋	支部長・前島理事
平成 25 年 1 月 25 日	正副支部長会	支部事務所	支部長・堀川副支部長・岩井会計理事
平成 25 年 1 月 27 日	福村和美新春のつどい 2013	都ホテル ニュアルカイク	支部長・堀川副支部長
平成 25 年 1 月 30 日	第 4 回理事会	西宮市大学交流センター	正副支部長・会計理事・理事 計 12 名
平成 25 年 2 月 8 日	FM 宝塚「笑福亭瓶吾と愉快な仲間たち」出演	FM 宝塚	支部長・秋山本会通信員
平成 25 年 2 月 12 日	川西市長インタビュー	川西市役所	支部長・田中副支部長・林理事・酒井理事・秋山本会通信員・恵須川理事
平成 25 年 2 月 21 日	阪神間商工会議所会員大交流会	伊丹シティホール	支部長
平成 25 年 2 月 23 日	正副支部長会	西宮市民交流センター	正副支部長・会計理事
平成 25 年 2 月 25 日	第 5 回理事会	西宮市民会館	正副支部長・会計理事・理事 計 11 名
平成 25 年 2 月 25 日	ISO26000 導入検討特別委員会	西宮市民会館	委員 8 名
平成 25 年 3 月 5 日	地域意見交換会（尼崎）	尼崎商工会議所	6 名参加・懇談会 5 名参加
平成 25 年 3 月 6 日	地域意見交換会（宝塚・伊丹・川西・猪名川）	庵 川西ホール	18 名参加・懇談会 15 名参加
平成 25 年 3 月 7 日	選挙管理委員会	支部事務所	上田委員長・高路委員・山口忠士委員
平成 25 年 3 月 8 日	地域意見交換会（芦屋・西宮）	西宮市大学交流センター	16 名参加・懇談会 13 名参加
平成 25 年 3 月 16 日	正副支部長会	西宮市大学交流センター	支部長・堀川副支部長・岩井会計理事
平成 25 年 3 月 16 日	選挙管理委員会	支部事務所	上田委員長・高路委員・山口忠士委員
平成 25 年 3 月 27 日	第 6 回理事会	西宮市大学交流センター	正副支部長・会計理事・理事 計 12 名